

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福島市 (都道府県: 福島県)
 本事業の担当部局名 定住交流課

| | | | | | |
|--|------------|--|------------------------|---------|----------|
| 事業メニュー | | 地域結婚支援重点推進事業 | | | |
| 区分 | | 重点メニュー | | | |
| 関連事業メニュー | | 1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組 | | | |
| 個別事業名 | | 福島市出合いの場創出事業 | 新規/継続 (一般財源での実施も含む) | 継続 | |
| 実施期間 | | 令和6年4月1日 ~ | 令和7年3月31日 | 事業開始年度 | 平成 28 年度 |
| 対象経費支出予定額 ※(注)1 | | 4,143,000 | | | 円 |
| 自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2 | | (これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通 平成30年度に実施の市民アンケートの「結婚していない理由について」という項目で「良い相手とめぐり合わない」と回答した25歳~39歳の割合は47.8%を占めている。また、「結婚の時期」という項目では、「良い相手と見つければ結婚したい」と回答した割合は、40.7%を占めていることから、結婚支援の強化のために出合いの場の創出が重要である。一方でこれまでの経過から、異性との関わり方、コミュニケーション能力に課題がある方や主体的に結婚に向けての活動が行えていない結婚希望者が多く見受けられるため、出合いの場創出と合わせて、それぞれが持つ課題を克服するための助言・指導が必要であると考えられる。 また、未婚者が希望する「結婚後将来的に持ちたい子ども数」は「2名以上」という回答が56.8%を占めていることから子育ての入口である結婚支援を強化し、積極的に行うことで本市の少子化対策、定住人口の増加を図っていくことが必要である。 | | | |
| | | (当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 本市においても若年層(特に20代から30代)の転出者増加や新型コロナウイルスの影響もあり、平成28年度以降は人口の社会減が続いているとともに、婚姻件数についても令和4年度は前年度に比べて微増ではあったが年々減少傾向にあり、緊急に対策を講じる必要がある。このことから、過年度に引き続き子育ての入口である結婚支援の強化を図るため、出合いの場の創出及び結婚希望者それぞれが持つ課題を解決するための支援(セミナー・個別レッスンなど)を中心とした事業を展開していく。 <本個別事業の位置付け> 「第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョン」の基本方針「1.子どもたちの未来が広がるまち」の重点施策「子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現」を掲げ、 ①保育士等の確保、特色ある幼児教育・保育の推進 ②子ども家庭総合支援拠点によるきめ細やかな相談支援体制 ③出合いの場の創出、結婚への支援などライフステージに応じた各種支援の充実の取り組みを行うこととしている。本事業については上記取り組みの③に位置付けられる。 結婚を希望する独身男女に対して結婚相談や出合いの場の提供、スキルアップ事業を行うことにより、結婚への意識が高まり、それぞれが希望する結婚が実現できることを目指す。 ※用語説明 ライフサポーター…会計年度任用職員(7時間勤務)。福島市における結婚相談の対応、マリッジサポーターとの連絡調整、イベントの企画運営補助などの役割を担う。 マリッジサポーター…福島市が認定したボランティアで、結婚を希望する独身男女の身近な相談役としてお世話焼き活動を行う。 | | | |
| | | (過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) これまでの経過から受け身で活動している結婚希望者が多く見受けられることから結婚に向けて主体的に考え行動できるようなサポートが必要である。そのため、結婚相談会の回数を増やし、相談会の場でマリッジサポーターが相談者の結婚に対する意識や本気度を具体的に確認したうえで相談対応やお引き合わせを行う仕組みを作っていく。 個別レッスン受講後、数か月後に受講の成果が婚活に活かしているかアンケート調査を実施して、効果検証を行う。 | | | |
| 番号 | 項目 | 内容 | | ステップアップ | KPI設定 |
| 1 | ライフサポーター雇用 | ○結婚相談業務 ・福島市役所にて結婚全般の相談を受け付け、マリッジサポーター制度の案内、婚活情報の提供などを行う。 ○マリッジサポーターとの連絡調整業務 ・相談やお引き合わせを希望する方にはマリッジサポーターを紹介し、相談の日程を調整する。 ○マリッジサポーターの後方支援 ・マリッジサポーター活動に対し助言・指導を行うとともに、マリッジサポーター主催の婚活イベントの企画運営補助、マリッジサポーター研修会の企画運営を行い、連携を強化しながら活動の活性化を図る。 ・相談者が主体的に婚活を行えるよう相談者自身がお見合い相手を選択できる仕組みを作る。(現在はマリッジサポーターがお見合い相手を選択しており、相談者の希望にマッチしない場合がある。) | | ○ | ○ |

| | | | | | |
|--|---|------------------|---|---|---|
| 個別事業の内容 ※(注)3 | 2 | マリッジサポーター支援 | <p>○えんむすび相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回結婚相談会を実施する。相談会の場でマリッジサポーターが相談者の結婚に対する意識や本気度をより具体的に確認したうえで相談対応やお引き合わせを行う仕組みを作る。 <p>○マリッジサポーター主催 婚活イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年5回対面のイベントを実施する。同日イベントの前に婚活セミナーを実施する。 ・参加目標人数: 男女各10名(合計20名)×5回=100名 ・イベント内容: 未定。(地域の資源を活かした参加者が積極的に交流できる内容を検討中。飲食費や体験料等の参加者に還元する費用(補助対象外)を含むイベントに係るすべての費用は参加費を徴収し充当する。(当計画に含まない) ・婚活セミナーの内容: マリッジサポーターが講師となり、「婚活に必要なコミュニケーション能力、異性との関わり方や身だしなみ(髪型や服装)、結婚に関する統計の紹介」等のセミナーを30分程度実施する。 ・イベント参加者に対し、「マリッジサポーター」及び「はぴ福なび」への登録をイベント前後に促す。 ・ジャンル(アニメ好き、動物好きなど)を絞った婚活イベントを開催し、マッチング率向上を目指す。 <p>○SNS広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①目的: マリッジサポーター事業や婚活イベント、結婚支援情報等の告知のため、②訴求対象者: 福島市周辺に居住する39歳以下の方、③選定理由: 若年層が多く利用するSNSを活用した広告を既存の広報と合わせて行うことでより多くの訴求対象者へ情報を届けるため、④広告スペース・掲載回数: Instagram広告を6回実施(※うち1回は結婚新生活支援事業の広報として利用するため、補助対象外経費となる。) | ○ | ○ |
| | 3 | 婚活セミナー&個別レッスンの実施 | <p>交際・結婚に発展させるためには、どのようなスキル(コミュニケーション、外見、行動など)を身に付ける必要があるのかやそれぞれが持つ婚活に対する悩みを克服するために、専門講師から個別に助言・指導をもらい、これからの婚活に役立てていただく。セミナー、個別レッスン、電話・ZOOM・対面による個別相談を実施。</p> <p>個別レッスン受講後、数か月後に受講の成果が婚活に活かしているかアンケート調査を実施する。</p> <p>対象: 福島市での結婚を望む独身者50名</p> | ○ | ○ |
| 【次年度以降に向けた事業の方向性】 | | | | | |
| アンケート結果を活用し、結婚を希望する方それぞれが持つ課題や悩みをどのようなサポートをすることで改善していけるか、事業内容について検討を行い、より効果的な事業としていくために見直しを図る。 | | | | | |
| 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 | | | | | |
| 福井県福井市 出愛♡恋々応援事業 | | | | | |

| 事業内容 番号 | KPI項目 | | 単位 | 目標値 | 現状値 |
|--|------------------------------|------------------------------|----|--------------|---------------|
| | 項目 | | | | |
| 少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通 | 婚姻届を提出した件数 | | 件 | 1,200 | 1,011 (R4) |
| | 出生数 | | 人 | 1,700 | 1,576 (R4) |
| 参考指標 ※(注)5 ※全事業共通 | 項目 | | 単位 | 直近の実績 | |
| | 合計特殊出生率 | | | 1.24 | |
| | 婚姻件数 | | 件 | 1,011 | |
| | 婚姻率 | | | 3.63 | |
| 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6 | KPI項目 | | 単位 | 目標値 | 現状値 |
| | 項目 | | | | |
| | (アウトプット) | | | | |
| | 1 | マリッジサポーターの登録数 | 人 | 28 | 23 (R6.1.19) |
| | 2 | ライフサポーターとマリッジサポーターの連携による相談件数 | 件 | 70 | 58 (R6.1.19) |
| | 3 | 婚活イベント及びスキルアップセミナー参加者数 | 人 | 100 | 68 (R6.1.19) |
| | 4 | 婚活イベント及びスキルアップセミナーの募集定員に対する参 | % | 90 | 97 (R6.1.16) |
| | 5 | インターネット広告の表示回数に対するリーチ数の割合 | % | 35 | 29 (R6.1.19) |
| | 6 | 婚活セミナー&個別レッスンの参加者数 | 人 | 50 | 71 (R6.1.19) |
| | 7 | 婚活セミナー&個別レッスンの募集定員に対する参加者数の | % | 100 | 100 (R6.1.19) |
| | 8 | | | | |
| | 9 | | | | |
| | 10 | | | | |
| | (アウトカム) | | | | |
| | 1 | マリッジサポーター研修会・交流会に参加し、今後の活動に活 | % | 80 | — |
| | 2 | マリッジサポーターの支援を受けた者の満足度 | % | 80 | 100 (R6.1.19) |
| 3 | 引き合わせ成立数(婚活イベント時のカップリングした人数) | 人 | 30 | 19 (R6.1.19) | |
| 4 | スキルアップセミナーを受講し、今後の活動に活かせると感じ | % | 85 | 80 (R6.1.19) | |
| 5 | インターネット広告によりイベントに申込をした者の割合 | % | 40 | 27 (R6.1.19) | |
| 6 | 個別レッスンを受講し、今後の活動に活かせると感じた参加者 | % | 85 | 79 (R6.1.19) | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

| | |
|--|--|
| <p>他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7</p> | <p>県と市町村において連携して実施する内容については、県内全59市町村で構成される協議会において地域の実情・課題を共有し、地域における今後の取組全般を協議しながら進める。また、以下のとおり連携して実施することで、相談登録者の確保、子育てへの意識醸成など効果的となるよう取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島市の相談登録者へ福島県(ふくしま結婚・子育て応援センター)が実施するマッチングサイト「はび福なび」の登録を勧め、出会いの機会を増やし成婚に繋げやすくする。 ・えんむすび相談会の会場で、「はび福なび」出張登録会を実施する。 ・福島県が主催する協議会へ参加する。 ・ボランティア同士の交流 福島県や周辺自治体の世話焼き人と交流し活動の幅を広げ、成婚へ向けたさらなる活動の促進を図る。 ・婚活イベント情報などをホームページへ掲載する。 ・子育て週間中に期間限定サービスを提供する市内のファミたんカード協賛店の掘り起こしを行う。 |
| <p>民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8</p> | <p>各種経営団体、市内主要企業等に勤務する独身男女へ広く事業を周知ため、各企業へチラシを用いた広報を依頼する。そのほかチラシを包括連携協定締結企業、各商業施設等へ配架を依頼する。民間の無料情報掲載サイトを活用して周知を図る。</p> |

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。